

# 内に

# 表明

ついで助言を受けたい」と説明した。

このほか、演説では「住民の健康管理を優先課題として取り組む」と強調。さらに来年4月をめどに新たな原子力規制行政組織として環境省外局に原子力安全庁を設けると語り、同年中にIAEAの調査団を受け入れる意向も示した。

(ウイーン＝関根慎一)

## 朝日新聞 改革

### 本社「ニッポン前へ委員会」提言

朝日新聞社の「ニッポン前へ委員会」は19日、政治の再生に向けた提言をまとめた。大震災に対応すべきときに混乱を続ける政治を目的の当たりにして、衆参両院の選挙制度を含む大胆な政治改革が必要だと判断。検討の場として、国会から独立した委員会を設けることを提案した。そこで

は、投票できる年齢を国政選挙では18歳に、地方選では16歳に引き下げることを検討すべきだと提唱した。

▼3面委員による解説  
東日本大震災と原発事故への機動的な対処ができないばかりか、政争の果てに首相が交代した。こうした政治の現

状に、「前へ委員会」は被災地の復興のためにも、長期的な視点での日本の立て直しのためにも、政治の再生が必要との見解で一致した。

「一票の格差」の是正をはじめ、衆参両院の役割分担の整理など政治が直面している課題は多い。こうした現実を改める作業は、現行の選挙制度で選ばれた議員らに任せていても進みそうにない。そのため、有識者らが参加し、社会的信頼される第三者機関を、国会から独立した形で設けることを提唱した。

具体的には、国鉄など3公社の民営化に道筋をつけた臨時行政調査会のような組織を

想定している。

その場では、政治改革の緊急課題として、若者の政治参加を促すために選挙権の年齢を引き下げることを検討するように主張する。未来を見据えて諸制度を見直すには、若い世代が当事者として政治のあり方を考え、投票することが重要だとの考えからだ。

これにより、政党や議員が若者の利益を考慮し、長期的な視野に立った施策を取りやすくなる効果を期待する。

また、政治家の質の向上策や国民投票制の導入といった幅広い課題についても、根本的に議論することを求める。



脱原発を訴える「さようなら原発集会」が19日、東京・明治公園で開かれた。ノーベル賞作家の大江健三郎さんらが呼びかけた。主催者側によると、全国から約6万人が参加した。

大江さんは「私たちは原発に抵抗する意志を持っているということを政党の幹部に知らせる必要がある」と呼びかけた。参加者は集会後、のぼりやプラカードを手に渋谷や新宿の繁華街を3コースに分かれデモ行進した＝写真、樫山晃生撮影。

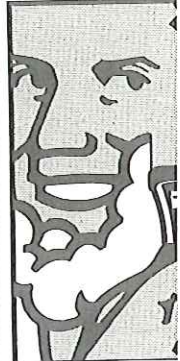
集会は脱原発へ政策転換を求める署名運動「さようなら原発1000万人アクション」の一環。

朝日新聞デジタルに動画

### 「脱原発の意志知らせる」

タイプのものだったとい

関係者によると、ウイ



### 天声人語

41年前のイタリア映画「ひまわり」が再上映されると聞いて試写を見た。ご存じ、戦争から還らぬ夫を捜し、若妻が旧ソ連を訪ねる悲話である。切ない調べが流れるタイトルバック。風

にそよぐヒマワリ畑を、カメラはゆっくり左に動いていく。地平線に至る黄色の海は、ウクライナで撮影されたという。花は500年前、北米から欧州に渡り、油の原料として広まった。最大の産地が旧ソ連で、映画には異郷を語る景色として登場する。▼チェルノブイリ原発事故の汚染域にも、菜種と共に植えられた。土壌の放射能が油に移りにくいためだ。ただ除染の力は定かでない、福島で実験した農水省の判定は「ほぼ効果なし」。根を深く張るので、地表近くの放射性物質は吸収しづらいらしい。▼除染の早道は表土の除去だ。4時まで削ると、セシウム75%が除かれたという。森口祐一東大教授の試算では、除染対象の面積は最大で福島県の7分の1にもなる。気が遠くなる労力と費用に、改めて原発事故の罪深さを思う。▼昨日、東京での「さようなら原発」の集会所で行進には、大江健三郎さんらの呼びかけで大勢が参加した。壇上から作家の落合恵子さんが訴えたように、平仮名しか読めぬ子が「ほうしゃのうこないで」とおびえる現実、捨て置けない▼孫の将来を案じてか、敬老の日を脱原発にあてたお年寄りも多かった。大切な誰かを本気で守ろうと思えば、人は街に繰り出す。黄色を身につけた群